

低年齢の子どものデジタル・シティズンシップに対する知識

田島 祥^{*1}・松尾由美^{*2}・坂元 章^{*3}

Abstract

The use of digital devices and the internet is becoming increasingly common among children at younger ages. There is therefore a growing need to develop the norms of appropriate and responsible technology use from an early age, which is also referred to as “digital citizenship.” This study explored children’s knowledge of digital citizenship through a survey of parents with young children. The findings suggested that the proportion of children with knowledge about digital citizenship increases with age. The results also confirmed that knowledge acquisition differs depending on the content of digital citizenship; while knowledge about certain areas of digital citizenship was high even among preschool-aged children, knowledge about other areas was low among children in early elementary school.

1 目的

スマートフォンやタブレット、パソコンなどのデジタル機器やインターネットの利用が低年齢化している。低年齢の子どもの保護者を対象にした調査（こども家庭庁成育局安全対策課, 2024）によると、2歳で58.8%、4歳で72.1%、6歳で80.9%、8歳で92.3%がインターネットを利用していた。平日の利用時間は、2歳ですでに100分を超えており（平均106.8分）、その44.3%が2時間以上使用していた。

このように低年齢からインターネットを身近なものとして利用している現代において、善き使い手として、デジタル技術の利用を通じて社会に積極的に関与し、参加する能力（デジタル・シティズンシップ）を身につけるための教育の必要性が指摘されている（e.g., Council of Europe, 2020）。これまでも、学校教育などで様々な取り組みが行われてきたが、就学前の子どもに対しては、保護者による家庭での取り組みに期待が寄せられる。特に、機器を利用し始める段階から、子どもの発達に合わせた教育を行うことが必要といえる。

本研究では、保護者による適切な介入の在り方を考える前提として、デジタル・シティズンシップに関して、子どもはどのくらいの年齢でどのような知識を持っているのかを明らかにす

*1 東海大学 *2 江戸川大学 *3 お茶の水女子大学

ることを目的とする。総務省によるICT活用のためのリテラシー向上に関する検討会（2023）がとりまとめた「ICT活用のためのリテラシー向上に関するロードマップ」においても、対象となる層（例えば、ネット・サービスを利用し始める層）に関する調査・分析を進め、各セグメント（層）に係る課題や特徴を明確化することが必要であると指摘されている。ここでは、保護者層は優先セグメントに設定されており、デジタルの善き使い手として模範となることや、子どもたちの成長段階に応じた適切な利用方法を理解・実施できることが求められている。こうしたニーズに資するものとして、本研究では3歳から小学3年生までの子どもが持つデジタル・シティズンシップに関する知識を調査し、現状に関する基礎的な資料を提示することを目的とする。

デジタル・シティズンシップに関しては、Ribble（2015）の枠組みを援用する。ここでは、デジタル・シティズンシップは、テクノロジーの使用に関して適切で責任ある行動をとるための規範と説明されており、その複雑さやテクノロジーの使用、悪用、誤用に関する問題を理解する方法として、表1に示す9つの要素が特定されている。

表1 デジタル・シティズンシップの9つの要素（Ribble, 2015）

要素	概要
デジタル・エチケット (Digital Etiquette)	デジタル技術を使うときに他者を思いやっているか
デジタル・アクセス (Digital Access)	選べば誰でも許容できるレベルでデジタル社会に参加できるか
デジタル規範 (Digital Law)	デジタル技術の使用に関する法律（規則、ポリシー）を認識しているか
デジタル・コミュニケーション (Digital Communication)	様々なデジタル・コミュニケーションの方法や、それぞれが適切なときを理解しているか
デジタル・リテラシー (Digital Literacy)	デジタル技術について学ぶ時間をとっており、その知識を他者と共有しているか
デジタル・コマース (Digital Commerce)	デジタルの世界で物を売買するための知識や保護するものを持っているか
デジタル権利と責任 (Digital Rights & Responsibilities)	他者の権利を保護し、自分自身のデジタル権利を守る準備ができているか
デジタル・セキュリティ (Digital Security)	自分の情報を守るために時間をかけ、他者のデータを守るための予防策も講じているか
デジタル健康とウェルネス (Digital Health & Wellness)	デジタル技術を使うときに身体的リスクと心理的リスクを考慮しているか

本研究では、これらの要素に対応する設問を作成し、3歳から小学3年生までの子どもの知識について、保護者を対象とした調査をもとに検討する。

2 方法

（1）調査対象者と手続き

2021年2月に、インターネット調査会社のモニターを対象に調査を依頼した。はじめにスクリーニング調査を行い、3歳児（年少）クラス相当の子ども（以下、3歳）から小学3年生（以下、小3）までの子どもと同居し、養育に最もよく関わっていると回答した人を抽出し、本調

査を依頼した。回答を回収する際は、子どもの性別と年齢（学年）に偏りがないように割り付けた。不適切回答を除いた1894名（男性165名、女性1729名、平均38.83歳、標準偏差5.51）が有効回答となった。

（２）調査項目

Ribble（2015）によるデジタル・シティズンシップの9つの要素（表1）について、子どもの知識を尋ねる項目を作成した。デジタル・シティズンシップ教育に関する既存のカリキュラムや教材（e.g., Government of British Columbia-Ministry of Education, 2015; Common Sense Education, n.d. ; The Lester B. Pearson School Board, 2015; The Saskatchewan Ministry of Education, 2015）を参考に、各要素の内容を幅広くカバーできるよう項目を作成したところ、29項目となった。

デジタル・エチケットに関しては、「お子さんは、スマートフォンやタブレット、パソコンのようなテクノロジーを利用するときに、周りにいる人の存在やその気持ちを意識する必要がありますか」となどの3項目をたずねた。デジタル・アクセスに関しては、「お子さんは、自分が利用しているスマートフォンやタブレット、パソコンなどのテクノロジーについて、他の人もみんな同じように利用しているわけではないこと（機器を持っていない場合や、インターネットにつながらない場合があることなど）を理解していますか」という1項目をたずねた。デジタル規範に関しては、「お子さんは、インターネット上のコンテンツは人（企業）が作ったもので、その人（企業）のものであること（所有権や著作権があること）を理解していますか」という1項目をたずねた。デジタル・コミュニケーションに関しては、「お子さんは、メール、SNS、ビデオ通話などの様々なコミュニケーションツールがあることを知っていますか」等の4項目をたずねた。デジタル・リテラシーに関しては、「お子さんは、インターネット上で見たり読んだりしたものをすべて信じることはできないことを知っていますか」等の4項目をたずねた。デジタル・コマースに関しては、「お子さんは、オンラインで物を売ったり買ったりできることを知っていますか」等の4項目をたずねた。デジタル権利と責任に関しては、「お子さんは、スマートフォンやタブレット、パソコンのようなテクノロジーやインターネットを使うときには、自分の行動に責任を持たなければならないことを知っていますか」等の2項目をたずねた。デジタル・セキュリティに関しては、「お子さんは、インターネット上で、知らない人や信頼していない人が接近してきたら、大人に伝える必要があることを知っていますか」等の7項目をたずねた。デジタル健康とウェルネスに関しては、「お子さんは、スマートフォンやタブレット、パソコンのようなデジタル機器を使用している時間が長すぎるのは健康的ではないことを知っていますか」等の3項目をたずねた。

各設問の内容に対して、自身の子どもは「知っている」「知らない」「子どもが知っているか、知らないか、私には判断できない」のいずれかから選択させた（一部の項目では「理解している」「理解していない」「子どもが理解しているか、理解していないか、私には判断できない」等の文言を用いた。設問と回答の選択肢の対応は次章を参照のこと）。複数の子どもと同居している場合には、対象となる子どもをランダムに割り当て、その子どもを念頭に回答するよう

教示した。具体的には、「あなたの小学2年・女兒のお子さんの現在の姿に近いものを一つ選んでお答えください」のように、下線部に該当する子どもの年齢と性別を表示した。回答の際は、直近1か月の間に子どもがインターネットを利用していたかどうかにかかわらず、普段の子どもの言動等から推測するよう教示した。

3 結果

低年齢の子どものデジタル・シティズンシップに対する知識について、子どもの性別ごとに、各選択肢を選んだ割合を年齢ごとに算出して χ^2 検定を行った。結果を表2から表30に示す。全ての表において、括弧内の数値は調整済み残差を示す。以下では、本研究においてもっとも年少の3歳ともっとも年長の小3を中心に結果を概観する。

(1) デジタル・エチケット

表2は、「お子さんは、スマートフォンやタブレット、パソコンのようなテクノロジーを利用するときに、周りにいる人の存在やその気持ちを意識する必要があることを知っていますか」という問いについて、各選択肢を選んだ割合を示している。「知っている」が選択されたのは、3歳では男性の12.00%、女性の15.09%だった。小3では男性30.00%、女性37.25%だった。特に女性において年齢による偏りが有意だった（男性 $\chi^2(10) = 17.31, p = .07, V = .17$; 女性 $\chi^2(10) = 23.82, p = .008, V = .20$ ）。残差分析の結果から、3歳は「知らない」割合が多く、小2、小3では「知っている」割合が多かった。

表2 テクノロジー利用時に周りの人の存在やその気持ちを意識する必要があること (%)

	3歳	4歳	5歳	小1	小2	小3
男性 知らない	58.00 (1.76)	57.63 (1.88)	51.02 (0.66)	36.84 (-1.65)	40.54 (-0.80)	34.00 (-1.97)
知っている	12.00 (-1.85)	15.25 (-1.37)	14.29 (-1.40)	33.33 (2.33)	27.03 (0.81)	30.00 (1.53)
判断できない	30.00 (-0.24)	27.12 (-0.80)	34.69 (0.53)	29.82 (-0.29)	32.43 (0.14)	36.00 (0.76)
女性 知らない	69.81 (3.25)	59.57 (1.49)	54.55 (0.70)	46.67 (-0.44)	34.00 (-2.43)	33.33 (-2.57)
知っている	15.09 (-1.93)	19.15 (-1.09)	18.18 (-1.21)	24.44 (-0.18)	38.00 (2.23)	37.25 (2.12)
判断できない	15.09 (-1.81)	21.28 (-0.62)	27.27 (0.41)	28.89 (0.69)	28.00 (0.57)	29.41 (0.83)

※括弧内の数値は調整済み残差を示す

表3は「お子さんは、ビデオ通話やチャットなど、インターネットを介して人とコミュニケーションをとるときに、相手は機械ではなく、実在の人であることを理解していますか」という問いに対する回答を示している。ここではコミュニケーションの際の視覚的匿名性の状態を考慮した6つの選択肢を用意した。男女ともに、3歳では「カメラで相手の顔が見えていれば、家族や友人など、親しい相手の場合は理解している」が最も多く選択された（男女の順に26.00%、37.74%）。また、小3では「相手の顔が見えていなくても、家族や友人など、親しい相手の場合は理解している（男女の順に26.00%、27.45%）」「相手の顔が見えていなくても、見知らぬ人も含め、どんな人でも理解している（男女の順に24.00%、27.45%）」が選択された割合が多かった。特に女性において、年齢による偏りが有意だった（男性 $\chi^2(25) = 19.40, p = .78$,

$V=.11$; 女性 $\chi^2(25) = 43.86, p=.01, V=.17$ 。3歳では「理解していない」「カメラで相手の顔が見えていれば、家族や友人など、親しい相手の場合は理解している」割合が多く、小2では「相手の顔が見えていなくても、家族や友人など、親しい相手の場合は理解している」割合が多かった。

表3 インターネットを介した人とのコミュニケーションの相手は実在の人であること (%)

	3歳	4歳	5歳	小1	小2	小3
男性 理解していない	20.00 (1.28)	15.25 (0.25)	16.33 (0.46)	8.77 (-1.31)	10.81 (-0.64)	14.00 (-0.05)
カメラで相手の顔が見えてい れば、家族や友人など、親し い相手の場合は理解している	26.00 (1.05)	23.73 (0.68)	26.53 (1.14)	21.05 (0.11)	10.81 (-1.56)	12.00 (-1.63)
相手の顔が見えていなくて も、家族や友人など、親しい 相手の場合は理解している	24.00 (0.27)	18.64 (-0.79)	14.29 (-1.51)	26.32 (0.76)	27.03 (0.70)	26.00 (0.65)
カメラで相手の顔が見えてい れば、見知らぬ人も含め、ど んな人でも理解している	10.00 (-0.46)	11.86 (-0.01)	10.20 (-0.41)	14.04 (0.55)	10.81 (-0.22)	14.00 (0.50)
相手の顔が見えていなくて も、見知らぬ人も含め、ど んな人でも理解している	12.00 (-1.42)	15.25 (-0.86)	16.33 (-0.56)	21.05 (0.39)	29.73 (1.73)	24.00 (0.94)
判断できない	8.00 (-0.87)	15.25 (0.98)	16.33 (1.13)	8.77 (-0.74)	10.81 (-0.16)	10.00 (-0.38)
女性 理解していない	20.75 (2.26)	8.51 (-0.75)	20.45 (1.95)	8.89 (-0.64)	6.00 (-1.38)	5.88 (-1.43)
カメラで相手の顔が見えてい れば、家族や友人など、親し い相手の場合は理解している	37.74 (3.04)	23.40 (0.24)	18.18 (-0.68)	26.67 (0.81)	12.00 (-1.89)	13.73 (-1.58)
相手の顔が見えていなくて も、家族や友人など、親しい 相手の場合は理解している	16.98 (-1.75)	19.15 (-1.26)	22.73 (-0.62)	31.11 (0.75)	42.00 (2.72)	27.45 (0.16)
カメラで相手の顔が見えてい れば、見知らぬ人も含め、ど んな人でも理解している	7.55 (-1.19)	19.15 (1.53)	6.82 (-1.22)	6.67 (-1.27)	16.00 (0.85)	17.65 (1.25)
相手の顔が見えていなくて も、見知らぬ人も含め、ど んな人でも理解している	15.09 (-0.92)	17.02 (-0.50)	22.73 (0.56)	15.56 (-0.75)	20.00 (0.07)	27.45 (1.54)
判断できない	1.89 (-1.73)	12.77 (1.47)	9.09 (0.41)	11.11 (0.97)	4.00 (-1.05)	7.84 (0.08)

※括弧内の数値は調整済み残差を示す

表4は「お子さんは、他の人の写真や動画を撮る前に、必ず許可を得る必要があることを知っていますか」という問いに対する回答を示している。ここでは「子ども本人は写真や動画を撮っていない」を加えた4つの選択肢を用いた。

表4 他の人の写真や動画を撮る前に必ず許可を得る必要があること (%)

	3歳	4歳	5歳	小1	小2	小3
男性 知らない	48.00 (1.04)	52.54 (1.94)	46.94 (0.86)	29.82 (-1.97)	37.84 (-0.47)	32.00 (-1.48)
知っている	6.00 (-1.93)	8.47 (-1.55)	14.29 (-0.13)	22.81 (1.86)	13.51 (-0.25)	24.00 (1.98)
判断できない	4.00 (-1.34)	10.17 (0.37)	8.16 (-0.21)	10.53 (0.47)	13.51 (1.04)	8.00 (-0.26)
子ども本人は 撮っていない	42.00 (1.18)	28.81 (-1.07)	30.61 (-0.67)	36.84 (0.37)	35.14 (0.05)	36.00 (0.20)
女性 知らない	47.17 (0.95)	48.94 (1.15)	52.27 (1.59)	48.89 (1.11)	32.00 (-1.48)	21.57 (-3.16)
知っている	13.21 (-0.99)	14.89 (-0.59)	13.64 (-0.81)	11.11 (-1.30)	30.00 (2.45)	23.53 (1.15)
判断できない	1.89 (-1.59)	4.26 (-0.78)	0.00 (-1.96)	4.44 (-0.71)	12.00 (1.57)	17.65 (3.34)
子ども本人は 撮っていない	37.74 (0.67)	31.91 (-0.30)	34.09 (0.05)	35.56 (0.27)	26.00 (-1.28)	37.25 (0.58)

※括弧内の数値は調整済み残差を示す

「知っている」が選択されたのは、3歳では男性6.00%、女性13.21%だった。小3では、男性24.00%、女性23.53%だった。特に女性において、年齢による偏りが有意だった（男性 $\chi^2(15) = 19.47, p = .19, V = .15$; 女性 $\chi^2(15) = 34.01, p = .003, V = .20$ ）。5歳では「判断できない」割合が0%と少なく、小2では「知っている」割合が多く、小3では「判断できない」割合が多い点に特徴があった。

(2) デジタル・アクセス

表5は、「お子さんは、自分が利用しているスマートフォンやタブレット、パソコンなどのテクノロジーについて、他の人もみんな同じように利用しているわけではないこと（機器を持っていない場合や、インターネットにつながらない場合があることなど）を理解していますか」という問いに対する回答を示している。「理解している」が選択されたのは、3歳では男性22.00%、女性20.75%だった。小3では、男性66.00%、女性56.86%だった。男女共に、年齢による偏りがみられた（男性 $\chi^2(10) = 35.84, p < .001, V = .24$; 女性 $\chi^2(10) = 33.82, p < .001, V = .24$ ）。残差分析の結果から、男性は「理解している」割合が3、4歳で少なく、小3では多かった。女性は、3、5歳は「理解していない」割合が多く、小2、小3は「理解している」割合が多かった。

表5 利用しているテクノロジーを他の人も同じように利用しているわけではないこと (%)

		3歳	4歳	5歳	小1	小2	小3
男性	理解していない	48.00 (1.69)	52.54 (2.68)	40.82 (0.54)	28.07 (-1.62)	29.73 (-1.03)	22.00 (-2.47)
	理解している	22.00 (-2.56)	22.03 (-2.83)	28.57 (-1.50)	45.61 (1.30)	48.65 (1.41)	66.00 (4.45)
	判断できない	30.00 (0.99)	25.42 (0.18)	30.61 (1.09)	26.32 (0.35)	21.62 (-0.44)	12.00 (-2.25)
女性	理解していない	56.60 (3.75)	29.79 (-0.74)	50.00 (2.35)	31.11 (-0.52)	22.00 (-2.04)	17.65 (-2.79)
	理解している	20.75 (-3.27)	36.17 (-0.69)	29.55 (-1.63)	42.22 (0.23)	58.00 (2.74)	56.86 (2.59)
	判断できない	22.64 (-0.41)	34.04 (1.60)	20.45 (-0.73)	26.67 (0.31)	20.00 (-0.87)	25.49 (0.12)

※括弧内の数値は調整済み残差を示す

(3) デジタル規範

表6は「お子さんは、インターネット上のコンテンツは人（企業）が作ったもので、その人（企業）のものであること（所有権や著作権があること）を理解していますか」という問いに対する回答を示している。

表6 インターネット上のコンテンツはそれを作った人（企業）に権利があること (%)

		3歳	4歳	5歳	小1	小2	小3
男性	理解していない	80.00 (2.55)	66.10 (0.33)	71.43 (1.15)	66.67 (0.42)	67.57 (0.45)	34.00 (-4.88)
	理解している	6.00 (-1.99)	20.34 (1.22)	8.16 (-1.50)	12.28 (-0.69)	16.22 (0.18)	28.00 (2.75)
	判断できない	14.00 (-1.25)	13.56 (-1.48)	20.41 (-0.02)	21.05 (0.11)	16.22 (-0.69)	38.00 (3.35)
女性	理解していない	75.47 (0.49)	72.34 (-0.07)	79.55 (1.10)	71.11 (-0.27)	80.00 (1.26)	58.82 (-2.46)
	理解している	7.55 (-1.05)	10.64 (-0.25)	9.09 (-0.59)	8.89 (-0.64)	12.00 (0.07)	21.57 (2.41)
	判断できない	16.98 (0.33)	17.02 (0.31)	11.36 (-0.83)	20.00 (0.90)	8.00 (-1.61)	19.61 (0.89)

※括弧内の数値は調整済み残差を示す

「理解している」割合は、3歳では男性6.00%、女性7.55%だった。小3では、男性28.00%、女性21.57%だった。男性において、年齢による偏りが有意だった（男性 $\chi^2(10) = 30.92, p < .001, V = .23$; 女性 $\chi^2(10) = 11.28, p = .34, V = .14$ ）。残差分析の結果より、3歳は「理解していない」割合が多く、小3は「理解している」「判断できない」割合が多かった。

（４）デジタル・コミュニケーション

表7は「お子さんは、メール、SNS、ビデオ通話などの様々なコミュニケーションツールがあることを知っていますか」という問いに対する回答を示している。「知っている」割合は、3歳では男性30.00%、女性35.85%だった。小3では、男性74.00%、女性76.47%だった。男女共に年齢による偏りが有意だった（男性 $\chi^2(10) = 29.88, p < .001, V = .22$; 女性 $\chi^2(10) = 52.87, p < .001, V = .30$ ）。残差分析の結果より、男性は3歳では「知らない」割合が多く、小3では「知っている」割合が多かった。女性は3、4歳は「知らない」割合が多く、小1は「判断できない」が、小2、小3は「知っている」割合が多かった。

表7 様々なコミュニケーションツールがあること (%)

	3歳	4歳	5歳	小1	小2	小3
男性 知らない	52.00 (3.62)	30.51 (0.01)	40.82 (1.72)	21.05 (-1.71)	21.62 (-1.25)	16.00 (-2.43)
知っている	30.00 (-4.38)	59.32 (0.24)	46.94 (-1.71)	68.42 (1.78)	70.27 (1.62)	74.00 (2.52)
判断できない	18.00 (1.55)	10.17 (-0.38)	12.24 (0.16)	10.53 (-0.28)	8.11 (-0.71)	10.00 (-0.38)
女性 知らない	54.72 (4.34)	44.68 (2.40)	40.91 (1.71)	8.89 (-3.36)	16.00 (-2.37)	13.73 (-2.79)
知っている	35.85 (-4.03)	42.55 (-2.72)	52.27 (-1.19)	73.33 (1.94)	82.00 (3.44)	76.47 (2.59)
判断できない	9.43 (-0.06)	12.77 (0.79)	6.82 (-0.69)	17.78 (2.01)	2.00 (-2.01)	9.80 (0.04)

※括弧内の数値は調整済み残差を示す

表8は「お子さんは、様々なソーシャルメディアにはそれぞれ得意な伝え方があること（Instagramは写真、Twitterは文字中心など）を知っていますか」という問いに対する回答を示している。「知っている」割合は、3歳では男性8.00%、女性7.55%だった。小3では男性28.00%、女性19.61%だった。男性において年齢による偏りが有意だった（男性 $\chi^2(10) = 28.22, p = .002, V = .22$; 女性 $\chi^2(10) = 16.43, p = .09, V = .17$ ）。残差分析の結果から、3歳は「知らない」割合が多く、小2は「判断できない」割合が、小3は「知っている」割合が多かった。

表8 様々なソーシャルメディアにはそれぞれ得意な伝え方があること (%)

	3歳	4歳	5歳	小1	小2	小3
男性 知らない	86.00 (1.99)	84.75 (1.96)	85.71 (1.92)	70.18 (-0.90)	62.16 (-1.90)	56.00 (-3.36)
知っている	8.00 (-1.00)	6.78 (-1.43)	6.12 (-1.43)	12.28 (0.01)	13.51 (0.25)	28.00 (3.72)
判断できない	6.00 (-1.60)	8.47 (-1.13)	8.16 (-1.08)	17.54 (1.16)	24.32 (2.21)	16.00 (0.71)
女性 知らない	79.25 (0.64)	85.11 (1.62)	88.64 (2.15)	66.67 (-1.57)	70.00 (-1.06)	66.67 (-1.69)
知っている	7.55 (-0.82)	2.13 (-2.08)	4.55 (-1.43)	13.33 (0.62)	16.00 (1.34)	19.61 (2.27)
判断できない	13.21 (-0.06)	12.77 (-0.15)	6.82 (-1.40)	20.00 (1.40)	14.00 (0.13)	13.73 (0.06)

※括弧内の数値は調整済み残差を示す

表9は「お子さんは、インターネットのコンテンツを利用したら、デジタルフットプリントや履歴が残ることを知っていますか」という問いに対する回答を示している。「知っている」割合は、3歳では男性6.00%、女性13.21%だった。小3では、男性22.00%、女性19.61%だった。特に女性において、年齢による偏りが有意だった（男性 $\chi^2(10) = 17.28, p = .07, V = .17$; 女性 $\chi^2(10) = 23.60, p = .01, V = .20$ ）。残差分析の結果より、4歳は「知らない」割合が多く、小1、小3は「判断できない」割合が多かった。

表9 インターネットのコンテンツの利用はデジタルフットプリントや履歴が残ること (%)

	3歳	4歳	5歳	小1	小2	小3
男性 知らない	86.00 (1.89)	81.36 (1.17)	85.71 (1.82)	70.18 (-1.04)	67.57 (-1.20)	60.00 (-2.79)
知っている	6.00 (-1.71)	13.56 (-0.00)	6.12 (-1.66)	17.54 (0.97)	16.22 (0.50)	22.00 (1.90)
判断できない	8.00 (-0.73)	5.08 (-1.60)	8.16 (-0.68)	12.28 (0.36)	16.22 (1.10)	18.00 (1.75)
女性 知らない	81.13 (0.93)	89.36 (2.31)	84.09 (1.33)	66.67 (-1.64)	78.00 (0.33)	58.82 (-3.21)
知っている	13.21 (0.28)	4.26 (-1.80)	6.82 (-1.16)	11.11 (-0.21)	16.00 (0.94)	19.61 (1.82)
判断できない	5.66 (-1.52)	6.38 (-1.24)	9.09 (-0.59)	22.22 (2.38)	6.00 (-1.38)	21.57 (2.41)

※括弧内の数値は調整済み残差を示す

表10は「お子さんは、インターネットを介したコミュニケーションに慣れていない時やインターネット上でどのように相手に振舞っていいかわからない時の対処方法（別の手段を使う、誰かに相談するなど）を知っていますか」という問いに対する回答を示している。「知っている」割合は、3歳では、男性12.00%、女性11.32%だった。小3では、男性20.00%、女性29.41%だった。男女共、年齢による偏りはみられなかった（男性 $\chi^2(10) = 13.79, p = .18, V = .15$; 女性 $\chi^2(10) = 14.81, p = .14, V = .16$ ）

表10 インターネット上での振る舞い方がわからない時の対処方法 (%)

	3歳	4歳	5歳	小1	小2	小3
男性 知らない	74.00 (1.68)	72.88 (1.66)	67.35 (0.60)	59.65 (-0.68)	56.76 (-0.92)	48.00 (-2.51)
知っている	12.00 (-0.76)	8.47 (-1.67)	18.37 (0.59)	15.79 (0.05)	21.62 (1.09)	20.00 (0.95)
判断できない	14.00 (-1.31)	18.64 (-0.47)	14.29 (-1.24)	24.56 (0.76)	21.62 (0.12)	32.00 (2.12)
女性 知らない	73.58 (1.53)	68.09 (0.56)	77.27 (1.92)	57.78 (-1.02)	64.00 (-0.08)	47.06 (-2.86)
知っている	11.32 (-1.13)	12.77 (-0.76)	11.36 (-1.01)	17.78 (0.24)	16.00 (-0.12)	29.41 (2.72)
判断できない	15.09 (-0.80)	19.15 (0.04)	11.36 (-1.40)	24.44 (1.02)	20.00 (0.21)	23.53 (0.92)

※括弧内の数値は調整済み残差を示す

(5) デジタル・リテラシー

表11は、「お子さんは、インターネット上で見たり読んだりしたものをすべて信じることはできないことを知っていますか」という問いに対する回答を示している。「知っている」割合は、3歳では、男性6.00%、女性13.21%だった。小3では、男性46.00%、女性37.25%だった。男女とも、年齢による偏りが有意だった（男性 $\chi^2(10) = 36.91, p < .001, V = .25$; 女性 $\chi^2(10) = 24.34, p = .01, V = .20$ ）。残差分析の結果より、男性は3、4歳は「知らない」割合が多く、小3は「知っている」割合が多かった。女性は3歳では「知らない」割合が多く、小3では「知っ

ている」割合が多かった。

表11 インターネット上で見たたり読んだりしたものをすべて信じることはできないこと (%)

	3歳	4歳	5歳	小1	小2	小3
男性 知らない	66.00 (2.32)	71.19 (3.46)	48.98 (-0.31)	42.11 (-1.49)	40.54 (-1.36)	32.00 (-2.94)
知っている	6.00 (-3.20)	11.86 (-2.35)	22.45 (-0.19)	28.07 (0.90)	29.73 (0.95)	46.00 (4.11)
判断できない	28.00 (0.44)	16.95 (-1.68)	28.57 (0.54)	29.82 (0.83)	29.73 (0.63)	22.00 (-0.62)
女性 知らない	73.58 (2.66)	68.09 (1.64)	68.18 (1.59)	48.89 (-1.23)	50.00 (-1.14)	35.29 (-3.49)
知っている	13.21 (-1.72)	12.77 (-1.68)	15.91 (-1.07)	28.89 (1.20)	24.00 (0.36)	37.25 (2.88)
判断できない	13.21 (-1.49)	19.15 (-0.28)	15.91 (-0.85)	22.22 (0.28)	26.00 (1.02)	27.45 (1.31)

※括弧内の数値は調整済み残差を示す

表12は、「お子さんは、インターネット上には、時には自分を不快にさせるようなコンテンツがあることを知っていますか」という問いに対する回答を示している。「知っている」割合は、3歳では、男性22.00%、女性16.98%だった。小3では、男性54.00%、女性49.02%だった。男女とも、年齢による偏りが有意だった（男性 $\chi^2(10) = 35.39, p < .001, V = .24$; 女性 $\chi^2(10) = 33.11, p < .001, V = .24$ ）。残差分析の結果から、男性は、3、4歳は「知らない」割合が多く、小1は「判断できない」が、小2、3は「知っている」割合が多かった。女性は、3、4歳は「知らない」割合が多く、小3は「知っている」割合が多かった。

表12 インターネット上には時には自分を不快にさせるようなコンテンツがあること (%)

	3歳	4歳	5歳	小1	小2	小3
男性 知らない	64.00 (2.69)	61.02 (2.46)	53.06 (0.98)	35.09 (-1.95)	35.14 (-1.50)	28.00 (-2.90)
知っている	22.00 (-1.93)	28.81 (-0.90)	20.41 (-2.16)	33.33 (-0.08)	48.65 (2.04)	54.00 (3.31)
判断できない	14.00 (-1.08)	10.17 (-2.02)	26.53 (1.35)	31.58 (2.55)	16.22 (-0.54)	18.00 (-0.30)
女性 知らない	69.81 (2.75)	70.21 (2.62)	65.91 (1.90)	37.78 (-2.19)	42.00 (-1.68)	31.37 (-3.37)
知っている	16.98 (-2.23)	17.02 (-2.07)	18.18 (-1.81)	40.00 (1.65)	36.00 (1.08)	49.02 (3.34)
判断できない	13.21 (-0.93)	12.77 (-0.95)	15.91 (-0.32)	22.22 (0.89)	22.00 (0.90)	19.61 (0.42)

※括弧内の数値は調整済み残差を示す

表13は、「お子さんは、インターネット上で自分を不快にさせるようなコンテンツに遭遇したら、それを閉じて大人に伝えることを知っていますか」という問いに対する回答を示している。

表13 インターネット上で不快なコンテンツに遭遇したら大人に伝えること (%)

	3歳	4歳	5歳	小1	小2	小3
男性 知らない	52.00 (0.88)	59.32 (2.23)	48.98 (0.40)	36.84 (-1.60)	43.24 (-0.41)	36.00 (-1.61)
知っている	24.00 (-0.55)	23.73 (-0.66)	16.33 (-1.86)	35.09 (1.50)	32.43 (0.77)	32.00 (0.84)
判断できない	24.00 (-0.44)	16.95 (-1.85)	34.69 (1.42)	28.07 (0.30)	24.32 (-0.32)	32.00 (0.97)
女性 知らない	62.26 (1.48)	53.19 (0.01)	68.18 (2.18)	48.89 (-0.62)	52.00 (-0.17)	35.29 (-2.81)
知っている	22.64 (-0.02)	27.66 (0.88)	13.64 (-1.57)	24.44 (0.29)	22.00 (-0.14)	25.49 (0.51)
判断できない	15.09 (-1.70)	19.15 (-0.87)	18.18 (-1.00)	26.67 (0.43)	26.00 (0.34)	39.22 (2.77)

※括弧内の数値は調整済み残差を示す

「知っている」割合は、3歳では、男性24.00%、女性22.64%だった。小3では、男性32.00%、女性25.49%だった。男女とも、年齢による偏りはみられなかった（男性 $\chi^2(10) = 13.67, p = .19, V = .15$; 女性 $\chi^2(10) = 16.19, p = .09, V = .17$ ）。

表14は、「お子さんは、情報の整理には様々な方法があり、自分の探している情報を見つけるスキルを身につける必要があることを知っていますか（例：同じ検索語でも、googleやyahooなどのサイトによって結果が異なったり、ウェブサイト間で情報が異なったりすること）」という問いに対する回答を示している。「知っている」割合は、3歳では、男性10.00%、女性5.66%だった。小3では、男性44.00%、女性33.33%だった。男女とも、年齢による偏りが有意だった（男性 $\chi^2(10) = 34.53, p < .001, V = .24$; 女性 $\chi^2(10) = 43.28, p < .001, V = .27$ ）。残差分析の結果から、男性は3、4歳は「知らない」割合が多く、小3は「知っている」割合が多かった。女性は、3歳から5歳までは「知らない」割合が多く、小2、小3では「知っている」割合が多かった。また小3では「判断できない」割合も多かった。

表14 探している情報を見つけるスキルを身につける必要があること（%）

	3歳	4歳	5歳	小1	小2	小3
男性 知らない	72.00 (2.25)	71.19 (2.35)	67.35 (1.51)	50.88 (-1.14)	48.65 (-1.18)	32.00 (-4.01)
知っている	10.00 (-2.07)	13.56 (-1.54)	10.20 (-2.01)	26.32 (1.13)	21.62 (0.12)	44.00 (4.41)
判断できない	18.00 (-0.66)	15.25 (-1.31)	22.45 (0.17)	22.81 (0.26)	29.73 (1.30)	24.00 (0.47)
女性 知らない	81.13 (2.59)	80.85 (2.37)	81.82 (2.42)	62.22 (-0.56)	54.00 (-1.94)	37.25 (-4.75)
知っている	5.66 (-2.14)	6.38 (-1.83)	6.82 (-1.68)	11.11 (-0.83)	26.00 (2.35)	33.33 (3.98)
判断できない	13.21 (-1.18)	12.77 (-1.18)	11.36 (-1.40)	26.67 (1.43)	20.00 (0.21)	29.41 (2.10)

※括弧内の数値は調整済み残差を示す

(6) デジタル・コマース

表15は、「お子さんは、オンラインで物を売ったり買ったりできることを知っていますか」という問いに対する回答を示している。「知っている」割合は、3歳では、男性34.00%、女性50.94%だった。小3では、男性90.00%、女性84.31%だった。男女とも、年齢による偏りが有意だった（男性 $\chi^2(10) = 47.03, p < .001, V = .28$; 女性 $\chi^2(10) = 37.10, p < .001, V = .25$ ）。残差分析の結果より、男性は3、4歳は「知らない」割合が多く、小3は「知っている」割合が多かった。女性は、3歳は「知らない」割合が多く、小2、小3は「知っている」割合が多かった。

表15 オンラインで物を売ったり買ったりできること（%）

	3歳	4歳	5歳	小1	小2	小3
男性 知らない	58.00 (4.77)	40.68 (2.04)	34.69 (0.82)	19.30 (-1.92)	18.92 (-1.54)	4.00 (-4.37)
知っている	34.00 (-4.45)	52.54 (-1.65)	55.10 (-1.07)	71.93 (1.73)	70.27 (1.12)	90.00 (4.48)
判断できない	8.00 (-0.08)	6.78 (-0.47)	10.20 (0.53)	8.77 (0.15)	10.81 (0.60)	6.00 (-0.64)
女性 知らない	43.40 (3.00)	38.30 (1.93)	36.36 (1.54)	26.67 (-0.04)	8.00 (-3.31)	9.80 (-3.03)
知っている	50.94 (-2.53)	51.06 (-2.34)	52.27 (-2.06)	64.44 (-0.22)	90.00 (3.96)	84.31 (3.06)
判断できない	5.66 (-0.49)	10.64 (0.98)	11.36 (1.15)	8.89 (0.46)	2.00 (-1.57)	5.88 (-0.41)

※括弧内の数値は調整済み残差を示す

表16は、「お子さんは、オンラインで物（アプリやゲームのアイテムなども含む）を購入する前に、大人の許可を得る必要があることを知っていますか」という問いに対する回答を示している。「知っている」割合は、3歳では、男性30.00%、女性30.19%だった。小3では、男性78.00%、女性76.47%だった。男女とも、年齢による偏りが有意だった（男性 $\chi^2(10) = 35.11, p < .001, V = .24$; 女性 $\chi^2(10) = 39.34, p < .001, V = .26$ ）。残差分析の結果から、男性は、3歳は「知らない」割合が多く、小3は「知っている」割合が多かった。女性は、3歳は「知らない」割合が多く、小2、小3は「知っている」割合が多かった。

表16 オンラインで物を購入する前に大人の許可を得る必要があること（%）

	3歳	4歳	5歳	小1	小2	小3
男性 知らない	58.00 (4.63)	35.59 (0.95)	30.61 (0.02)	21.05 (-1.71)	18.92 (-1.63)	16.00 (-2.43)
知っている	30.00 (-4.50)	54.24 (-0.76)	53.06 (-0.86)	66.67 (1.37)	72.97 (1.89)	78.00 (3.05)
判断できない	12.00 (0.27)	10.17 (-0.21)	16.33 (1.32)	12.28 (0.36)	8.11 (-0.59)	6.00 (-1.22)
女性 知らない	60.38 (4.53)	42.55 (1.39)	40.91 (1.08)	26.67 (-1.10)	18.00 (-2.60)	13.73 (-3.34)
知っている	30.19 (-4.34)	44.68 (-1.85)	54.55 (-0.34)	62.22 (0.78)	74.00 (2.68)	76.47 (3.11)
判断できない	9.43 (0.03)	12.77 (0.89)	4.55 (-1.18)	11.11 (0.45)	8.00 (-0.35)	9.80 (0.13)

※括弧内の数値は調整済み残差を示す

表17は、「お子さんは、インターネットやアプリのポップアップ広告を知っていますか」という問いに対する回答を示している。「知っている」割合は、3歳では、男性28.00%、女性32.08%だった。小3では、男性54.00%、女性43.14%だった。男女とも、年齢による偏りはみられなかった（男性 $\chi^2(10) = 14.18, p = .16, V = .15$; 女性 $\chi^2(10) = 11.58, p = .31, V = .14$ ）。

表17 インターネットやアプリのポップアップ広告について（%）

	3歳	4歳	5歳	小1	小2	小3
男性 知らない	56.00 (1.81)	50.85 (1.12)	42.86 (-0.23)	47.37 (0.51)	40.54 (-0.50)	26.00 (-2.86)
知っている	28.00 (-2.15)	42.37 (0.11)	42.86 (0.18)	38.60 (-0.53)	45.95 (0.56)	54.00 (1.93)
判断できない	16.00 (0.47)	6.78 (-1.76)	14.29 (0.08)	14.04 (0.03)	13.51 (-0.07)	20.00 (1.36)
女性 知らない	56.60 (0.56)	61.70 (1.29)	63.64 (1.52)	51.11 (-0.29)	50.00 (-0.48)	37.25 (-2.50)
知っている	32.08 (-0.47)	31.91 (-0.46)	27.27 (-1.14)	40.00 (0.79)	34.00 (-0.14)	43.14 (1.37)
判断できない	11.32 (-0.18)	6.38 (-1.31)	9.09 (-0.66)	8.89 (-0.71)	16.00 (0.94)	19.61 (1.82)

※括弧内の数値は調整済み残差を示す

表18は、「お子さんは、インターネット上の広告には、それを見ている人に製品を購入したいと思わせる目的があることを知っていますか」という問いに対する回答を示している。「知っている」割合は、3歳では、男性2.00%、女性11.32%だった。小3では、男性42.00%、女性31.37%だった。男女とも、年齢による偏りが有意だった（男性 $\chi^2(10) = 40.33, p < .001, V = .26$; 女性 $\chi^2(10) = 27.22, p = .002, V = .22$ ）。残差分析の結果より、男性は、3、4歳は「知らない」割合が多く、小3は「知っている」割合が多かった。女性も同様だったが、さらに小3では「判断できない」割合も多かった。

表18 インターネット上の広告には製品を購入したいと思わせる目的があること (%)

		3歳	4歳	5歳	小1	小2	小3
男性	知らない	84.00 (3.71)	72.88 (2.15)	63.27 (0.42)	56.14 (-0.76)	45.95 (-1.95)	36.00 (-3.90)
	知っている	2.00 (-3.64)	10.17 (-2.31)	16.33 (-0.91)	28.07 (1.41)	32.43 (1.79)	42.00 (3.94)
	判断できない	14.00 (-0.84)	16.95 (-0.28)	20.41 (0.44)	15.79 (-0.53)	21.62 (0.57)	22.00 (0.76)
女性	知らない	77.36 (2.33)	76.60 (2.04)	72.73 (1.39)	53.33 (-1.53)	60.00 (-0.56)	41.18 (-3.64)
	知っている	11.32 (-1.63)	6.38 (-2.45)	11.36 (-1.45)	28.89 (1.77)	26.00 (1.32)	31.37 (2.40)
	判断できない	11.32 (-1.26)	17.02 (-0.04)	15.91 (-0.25)	17.78 (0.10)	14.00 (-0.67)	27.45 (2.13)

※括弧内の数値は調整済み残差を示す

(7) デジタル権利と責任

表19は、「お子さんは、スマートフォンやタブレット、パソコンのようなテクノロジーやインターネットを使うときには、自分の行動に責任を持たなければならないことを知っていますか」という問いに対する回答を示している。「知っている」割合は、3歳では、男性4.00%、女性9.43%だった。小3では、男性40.00%、女性21.57%だった。男女とも、年齢による偏りが有意だった（男性 $\chi^2(10) = 55.61, p < .001, V = .30$; 女性 $\chi^2(10) = 33.26, p < .001, V = .24$ ）。残差分析の結果より、男性は、3、4歳は「知らない」割合が多く、小1は「判断できない」割合が、小3は「知っている」割合が多かった。女性は、4歳は「知らない」割合が多く、小3は「判断できない」割合が多かった。

表19 テクノロジーやインターネット使用時は自分の行動に責任を持つこと (%)

		3歳	4歳	5歳	小1	小2	小3
男性	知らない	82.00 (3.92)	74.58 (3.05)	63.27 (0.97)	42.11 (-2.51)	51.35 (-0.73)	26.00 (-4.84)
	知っている	4.00 (-2.61)	3.39 (-3.03)	14.29 (-0.47)	21.05 (1.01)	18.92 (0.41)	40.00 (4.88)
	判断できない	14.00 (-2.19)	22.03 (-0.86)	22.45 (-0.70)	36.84 (1.97)	29.73 (0.48)	34.00 (1.32)
女性	知らない	75.47 (1.80)	78.72 (2.18)	77.27 (1.88)	64.44 (-0.06)	60.00 (-0.79)	35.29 (-4.87)
	知っている	9.43 (-1.09)	8.51 (-1.21)	6.82 (-1.51)	15.56 (0.30)	22.00 (1.75)	21.57 (1.68)
	判断できない	15.09 (-1.17)	12.77 (-1.52)	15.91 (-0.91)	20.00 (-0.19)	18.00 (-0.58)	43.14 (4.27)

※括弧内の数値は調整済み残差を示す

表20は、「お子さんは、スマートフォンやタブレット、パソコンのようなデバイスやテクノロジーの適切な使い方（例：自分や他者の個人情報を守ること、自分の意見や他の人の意見を尊重することなど）を知っていますか」という問いに対する回答を示している。

表20 デバイスやテクノロジーの適切な使い方について (%)

		3歳	4歳	5歳	小1	小2	小3
男性	知らない	78.00 (2.95)	76.27 (2.96)	59.18 (-0.01)	47.37 (-2.03)	54.05 (-0.69)	38.00 (-3.35)
	知っている	8.00 (-2.20)	10.17 (-1.96)	16.33 (-0.56)	28.07 (1.89)	21.62 (0.40)	32.00 (2.51)
	判断できない	14.00 (-1.42)	13.56 (-1.66)	24.49 (0.55)	24.56 (0.62)	24.32 (0.44)	30.00 (1.60)
女性	知らない	75.47 (2.12)	72.34 (1.48)	77.27 (2.16)	66.67 (0.59)	52.00 (-1.73)	35.29 (-4.47)
	知っている	7.55 (-1.77)	10.64 (-1.01)	9.09 (-1.28)	11.11 (-0.89)	30.00 (3.11)	23.53 (1.74)
	判断できない	16.98 (-0.93)	17.02 (-0.85)	13.64 (-1.41)	22.22 (0.09)	18.00 (-0.70)	41.18 (3.71)

※括弧内の数値は調整済み残差を示す

「知っている」割合は、3歳では、男性8.00%、女性7.55%だった。小3では、男性32.00%、女性23.53%だった。男女とも、年齢による偏りが有意だった（男性 $\chi^2(10) = 29.18, p = .001, V = .22$; 女性 $\chi^2(10) = 35.74, p < .001, V = .25$ ）。残差分析の結果から、男性は、3、4歳は「知らない」割合が多く、小3は「知っている」割合が多かった。女性は3、5歳では「知らない」割合が多く、小2は「知っている」が、小3は「判断できない」割合が多かった。

(8) デジタル・セキュリティ

表21は「お子さんは、インターネット上で、知らない人や信頼していない人が接近してきたら、大人に伝える必要があることを知っていますか」という問いに対する回答を示している。「知っている」割合は、3歳では、男性14.00%、女性20.75%だった。小3では、男性60.00%、女性50.98%だった。男女とも、年齢による偏りが有意だった（男性 $\chi^2(10) = 39.20, p < .001, V = .25$; 女性 $\chi^2(10) = 44.78, p < .001, V = .28$ ）。残差分析の結果より、男性は、3、5歳は「知らない」割合が多く、小3は「知っている」割合が多かった。女性は、3、4歳は「知らない」割合が多く、小2、小3は「知っている」割合が多かった。

表21 インターネット上で知らない人や信頼していない人が接近してきたら大人に伝えること (%)

	3歳	4歳	5歳	小1	小2	小3
男性 知らない	64.00 (3.50)	44.07 (0.41)	57.14 (2.39)	26.32 (-2.62)	32.43 (-1.22)	26.00 (-2.47)
知っている	14.00 (-3.47)	28.81 (-1.18)	22.45 (-2.08)	45.61 (1.78)	43.24 (1.06)	60.00 (3.98)
判断できない	22.00 (-0.16)	27.12 (0.87)	20.41 (-0.44)	28.07 (1.04)	24.32 (0.23)	14.00 (-1.63)
女性 知らない	64.15 (3.42)	61.70 (2.81)	50.00 (1.00)	37.78 (-0.78)	32.00 (-1.74)	13.73 (-4.67)
知っている	20.75 (-1.68)	19.15 (-1.82)	18.18 (-1.91)	26.67 (-0.58)	44.00 (2.31)	50.98 (3.53)
判断できない	15.09 (-2.09)	19.15 (-1.26)	31.82 (0.86)	35.56 (1.49)	24.00 (-0.45)	35.29 (1.56)

※括弧内の数値は調整済み残差を示す

表22は、「お子さんは、インターネット上で安全ではない状況（例：個人情報聞き出そうとする、写真を送らせようとする、いじめを受ける）とはどのようなものかを知っていますか」という問いに対する回答を示している。

表22 インターネット上で安全ではない状況について (%)

	3歳	4歳	5歳	小1	小2	小3
男性 知らない	78.00 (3.24)	72.88 (2.70)	65.31 (1.24)	40.35 (-2.87)	51.35 (-0.78)	34.00 (-3.64)
知っている	6.00 (-2.92)	11.86 (-2.01)	16.33 (-0.97)	31.58 (2.05)	24.32 (0.44)	40.00 (3.48)
判断できない	16.00 (-0.98)	15.25 (-1.24)	18.37 (-0.53)	28.07 (1.41)	24.32 (0.50)	26.00 (0.91)
女性 知らない	83.02 (2.86)	82.98 (2.66)	81.82 (2.38)	60.00 (-0.96)	54.00 (-2.01)	37.25 (-4.82)
知っている	9.43 (-1.35)	6.38 (-1.89)	4.55 (-2.18)	13.33 (-0.44)	24.00 (1.82)	33.33 (3.87)
判断できない	7.55 (-2.24)	10.64 (-1.48)	13.64 (-0.86)	26.67 (1.58)	22.00 (0.75)	29.41 (2.27)

※括弧内の数値は調整済み残差を示す

「知っている」割合は、3歳では、男性6.00%、女性9.43%だった。小3では、男性40.00%、女性33.33%だった。男女とも、年齢による偏りが有意だった（男性 $\chi^2(10) = 37.92, p < .001, V$

=.25; 女性 $\chi^2(10) = 44.75, p < .001, V = .28$ 。残差分析の結果より、男性は、3、4歳は「知らない」割合が多く、小1、小3は「知っている」割合が多かった。女性は、3歳から5歳は「知らない」割合が多く、小3は「知っている」「判断できない」割合が多かった。

表23は、「お子さんは、個人が特定できる情報（例：住んでいる場所や通っている学校、位置情報、フルネーム、名前入り写真）は決して共有しないことを知っていますか」という問いに対する回答を示している。「知っている」割合は、3歳では、男性0.00%、女性11.32%だった。小3では、男性44.00%、女性39.22%だった。男女とも、年齢による偏りが有意だった（男性 $\chi^2(10) = 50.90, p < .001, V = .29$; 女性 $\chi^2(10) = 55.60, p < .001, V = .31$ ）。残差分析の結果から、男性は、3、4歳は「知らない」割合が多く、小1は「判断できない」が、小3は「知っている」割合が多かった。女性は、3、4歳は「知らない」割合が多く、小2、小3は「知っている」割合が多かった。

表23 個人が特定できる情報は共有しないこと（%）

	3歳	4歳	5歳	小1	小2	小3
男性 知らない	80.00 (3.46)	76.27 (3.18)	63.27 (0.82)	40.35 (-2.99)	51.35 (-0.87)	34.00 (-3.76)
知っている	0.00 (-3.97)	8.47 (-2.61)	18.37 (-0.47)	28.07 (1.49)	29.73 (1.42)	44.00 (4.41)
判断できない	20.00 (-0.23)	15.25 (-1.24)	18.37 (-0.53)	31.58 (2.13)	18.92 (-0.36)	22.00 (0.15)
女性 知らない	79.25 (2.64)	80.85 (2.71)	75.00 (1.73)	71.11 (1.16)	46.00 (-2.82)	31.37 (-5.24)
知っている	11.32 (-1.13)	2.13 (-2.91)	6.82 (-1.89)	6.67 (-1.94)	30.00 (2.81)	39.22 (4.80)
判断できない	9.43 (-2.13)	17.02 (-0.56)	18.18 (-0.33)	22.22 (0.41)	24.00 (0.78)	29.41 (1.85)

※括弧内の数値は調整済み残差を示す

表24は、「お子さんは、パスワードを使用する理由やパスワードを使用することの利点を知っていますか」という問いに対する回答を示している。「知っている」割合は、3歳では、男性6.00%、女性15.09%だった。小3では、男性42.00%、女性33.33%だった。男女とも、年齢による偏りが有意だった（男性 $\chi^2(10) = 46.07, p < .001, V = .28$; 女性 $\chi^2(10) = 48.52, p < .001, V = .29$ ）。残差分析の結果より、男性は、3、4歳は「知らない」割合が多く、小1から小3は「知っている」割合が多かった。女性は、3歳から5歳は「知らない」割合が多く、小2、小3は「知っている」割合が多かった。また、小3では「判断できない」割合も多かった。

表24 パスワードを使用する理由やその利点について（%）

	3歳	4歳	5歳	小1	小2	小3
男性 知らない	74.00 (3.56)	69.49 (3.17)	57.14 (0.94)	31.58 (-3.26)	29.73 (-2.76)	38.00 (-2.01)
知っている	6.00 (-3.86)	16.95 (-2.19)	20.41 (-1.37)	42.11 (2.53)	48.65 (2.90)	42.00 (2.32)
判断できない	20.00 (-0.10)	13.56 (-1.48)	22.45 (0.36)	26.32 (1.20)	21.62 (0.18)	20.00 (-0.10)
女性 知らない	79.25 (2.85)	85.11 (3.56)	77.27 (2.26)	55.56 (-0.98)	42.00 (-3.21)	35.29 (-4.34)
知っている	15.09 (-1.29)	6.38 (-2.79)	13.64 (-1.41)	24.44 (0.48)	36.00 (2.69)	33.33 (2.21)
判断できない	5.66 (-2.30)	8.51 (-1.56)	9.09 (-1.39)	20.00 (0.75)	22.00 (1.22)	31.37 (3.24)

※括弧内の数値は調整済み残差を示す

表25は、「お子さんは、パスワードは個人的なものであり、特別な人（例：保護者、教師）以

外の人とは共有しないことを知っていますか」という問いに対する回答を示している。「知っている」割合は、3歳では、男性4.00%、女性11.32%だった。小3では、男性58.00%、女性58.82%だった。男女とも、年齢による偏りが有意だった（男性 $\chi^2(10) = 57.12, p < .001, V = .31$; 女性 $\chi^2(10) = 52.37, p < .001, V = .30$ ）。残差分析の結果から、男性は3、4歳は「知らない」割合が多く、小2、小3は「知っている」割合が多かった。女性は、3、4歳は「知らない」割合が多く、小3は「知っている」割合が多かった。

表25 パスワードは個人的なものであり特別な人以外とは共有しないこと (%)

	3歳	4歳	5歳	小1	小2	小3
男性 知らない	76.00 (4.13)	66.10 (2.87)	57.14 (1.19)	33.33 (-2.68)	35.14 (-1.84)	24.00 (-3.92)
知っている	4.00 (-4.62)	22.03 (-1.79)	20.41 (-1.87)	42.11 (1.86)	48.65 (2.35)	58.00 (4.36)
判断できない	20.00 (0.22)	11.86 (-1.53)	22.45 (0.70)	24.56 (1.22)	16.22 (-0.44)	18.00 (-0.17)
女性 知らない	81.13 (3.99)	72.34 (2.39)	63.64 (1.03)	48.89 (-1.13)	48.00 (-1.34)	25.49 (-4.93)
知っている	11.32 (-3.08)	10.64 (-2.98)	20.45 (-1.30)	28.89 (0.04)	40.00 (1.96)	58.82 (5.26)
判断できない	7.55 (-1.65)	17.02 (0.46)	15.91 (0.22)	22.22 (1.52)	12.00 (-0.62)	15.69 (0.19)

※括弧内の数値は調整済み残差を示す

表26は、「お子さんは、インターネット上で誰かの感情を傷つけてはいけないことを知っていますか」という問いに対する回答を示している。「知っている」割合は、3歳では、男性24.00%、女性22.64%だった。小3では、男性66.00%、女性76.47%だった。男女とも、年齢による偏りが有意だった（男性 $\chi^2(10) = 47.72, p < .001, V = .28$; 女性 $\chi^2(10) = 56.14, p < .001, V = .31$ ）。残差分析の結果より、男性は、3歳は「知らない」が、4歳は「判断できない」割合が多かった。小2、小3は「知っている」割合が多かった。女性は、3、4歳は「知らない」割合が多く、小2、小3は「知っている」割合が多かった。

表26 インターネット上で誰かの感情を傷つけてはいけないこと (%)

	3歳	4歳	5歳	小1	小2	小3
男性 知らない	54.00 (2.77)	44.07 (1.30)	48.98 (1.94)	28.07 (-1.51)	16.22 (-2.77)	24.00 (-2.05)
知っている	24.00 (-2.73)	22.03 (-3.37)	26.53 (-2.31)	52.63 (1.91)	64.86 (3.09)	66.00 (3.87)
判断できない	22.00 (0.03)	33.90 (2.50)	24.49 (0.49)	19.30 (-0.52)	18.92 (-0.46)	10.00 (-2.22)
女性 知らない	58.49 (4.07)	53.19 (2.95)	38.64 (0.63)	24.44 (-1.54)	20.00 (-2.37)	11.76 (-3.76)
知っている	22.64 (-3.59)	23.40 (-3.23)	36.36 (-1.23)	46.67 (0.27)	62.00 (2.68)	76.47 (5.01)
判断できない	18.87 (-0.36)	23.40 (0.50)	25.00 (0.77)	28.89 (1.48)	18.00 (-0.52)	11.76 (-1.73)

※括弧内の数値は調整済み残差を示す

表27は、「お子さんは、インターネット上での意地悪さ（インターネット上のいじめなど）がどのようなものであるか、それが人にどのように感じさせるのかを理解していますか」という問いに対する回答を示している。「理解している」割合は、3歳では、男性8.00%、女性11.32%だった。小3では、男性56.00%、女性56.86%だった。男女とも、年齢による偏りが有意だった（男性 $\chi^2(10) = 43.62, p < .001, V = .27$; 女性 $\chi^2(10) = 62.21, p < .001, V = .33$ ）。残差分析の結果より、男性は、3歳は「理解していない」割合が多く、小3は「理解している」割合が多かった。

女性は、3歳から5歳は「理解していない」割合が多く、小1と小3は「理解している」割合が多かった。

表27 インターネット上での意地悪さやそれが人にどのように感じさせるかについて (%)

		3歳	4歳	5歳	小1	小2	小3
男性	理解していない	64.00 (2.69)	55.93 (1.59)	55.10 (1.29)	42.11 (-0.77)	35.14 (-1.50)	24.00 (-3.52)
	理解している	8.00 (-3.20)	15.25 (-2.12)	14.29 (-2.07)	31.58 (1.03)	35.14 (1.33)	56.00 (5.26)
	判断できない	28.00 (0.15)	28.81 (0.32)	30.61 (0.59)	26.32 (-0.16)	29.73 (0.38)	20.00 (-1.24)
女性	理解していない	75.47 (4.10)	70.21 (3.03)	63.64 (1.96)	35.56 (-2.11)	34.00 (-2.49)	21.57 (-4.47)
	理解している	11.32 (-2.98)	10.64 (-2.89)	11.36 (-2.66)	40.00 (1.96)	36.00 (1.40)	56.86 (5.07)
	判断できない	13.21 (-1.72)	19.15 (-0.53)	25.00 (0.51)	24.44 (0.42)	30.00 (1.49)	21.57 (-0.09)

※括弧内の数値は調整済み残差を示す

(9) デジタル健康とウェルネス

表28は、「お子さんは、スマートフォンやタブレット、パソコンのようなデジタル機器を使用している時間が長すぎるのは健康的ではないことを知っていますか」という問いに対する回答を示している。「知っている」割合は、3歳では、男性52.00%、女性43.40%だった。小3では、男性78.00%、女性80.39%だった。特に女性において、年齢による偏りが有意だった（男性 $\chi^2(10) = 17.60, p = .06, V = .17$; 女性 $\chi^2(10) = 23.76, p = .01, V = .20$ ）。残差分析の結果から、3歳は「知らない」割合が多く、小2、小3は「知っている」割合が多かった。

表28 デジタル機器を使用している時間が長すぎるのは健康的ではないこと (%)

		3歳	4歳	5歳	小1	小2	小3
男性	知らない	36.00 (2.28)	27.12 (0.73)	22.45 (-0.19)	21.05 (-0.49)	21.62 (-0.29)	12.00 (-2.10)
	知っている	52.00 (-2.33)	66.10 (-0.02)	57.14 (-1.47)	71.93 (1.01)	72.97 (0.93)	78.00 (1.93)
	判断できない	12.00 (0.44)	6.78 (-0.98)	20.41 (2.56)	7.02 (-0.90)	5.41 (-1.04)	10.00 (-0.07)
女性	知らない	47.17 (3.23)	25.53 (-0.57)	36.36 (1.17)	28.89 (-0.01)	18.00 (-1.88)	17.65 (-1.96)
	知っている	43.40 (-3.42)	68.09 (0.67)	56.82 (-1.05)	57.78 (-0.91)	76.00 (1.97)	80.39 (2.72)
	判断できない	9.43 (0.68)	6.38 (-0.25)	6.82 (-0.12)	13.33 (1.72)	6.00 (-0.37)	1.96 (-1.60)

※括弧内の数値は調整済み残差を示す

表29は、「お子さんは、音量を調節したり使用をやめて休憩したりすることで、目や耳を守る必要があることを知っていますか」という問いに対する回答を示している。

表29 音量を調節したり使用をやめて休憩したりすることで目や耳を守る必要があること (%)

		3歳	4歳	5歳	小1	小2	小3
男性	知らない	44.00 (2.80)	28.81 (0.19)	34.69 (1.17)	19.30 (-1.59)	21.62 (-0.90)	18.00 (-1.70)
	知っている	44.00 (-2.69)	61.02 (0.02)	53.06 (-1.23)	64.91 (0.68)	67.57 (0.88)	76.00 (2.39)
	判断できない	12.00 (0.18)	10.17 (-0.29)	12.24 (0.24)	15.79 (1.20)	10.81 (-0.09)	6.00 (-1.29)
女性	知らない	52.83 (3.31)	31.91 (-0.24)	36.36 (0.45)	24.44 (-1.39)	28.00 (-0.90)	25.49 (-1.33)
	知っている	33.96 (-3.49)	57.45 (0.29)	52.27 (-0.47)	62.22 (0.98)	62.00 (1.01)	66.67 (1.76)
	判断できない	13.21 (0.56)	10.64 (-0.09)	11.36 (0.08)	13.33 (0.54)	10.00 (-0.26)	7.84 (-0.80)

※括弧内の数値は調整済み残差を示す

「知っている」割合は、3歳では、男性44.00%、女性33.96%だった。小3では、男性76.00%、女性66.67%だった。男女とも、年齢による偏りはみられなかった（男性 $\chi^2(10) = 16.82, p = .08, V = .17$; 女性 $\chi^2(10) = 16.01, p = .10, V = .17$ ）。

表30は、「お子さんは、スマートフォンやタブレット、パソコンのようなテクノロジーを使用することが適切な時と適切でない時（家族との食事中など）があることを知っていますか」という問いに対する回答を示している。「知っている」割合は、3歳では、男性60.00%、女性41.51%だった。小3では、男性70.00%、女性74.51%だった。特に女性において、年齢による偏りが有意だった（男性 $\chi^2(10) = 6.83, p = .74, V = .11$; 女性 $\chi^2(10) = 26.91, p = .003, V = .22$ ）。残差分析の結果より、3歳は「知らない」割合が多く、小2は「知っている」割合が多かった。

表30 テクノロジーを使用することが適切な時と適切でない時があること（%）

	3歳	4歳	5歳	小1	小2	小3
男性 知らない	28.00 (1.29)	16.95 (-0.89)	18.37 (-0.53)	21.05 (-0.03)	27.03 (0.93)	18.00 (-0.60)
知っている	60.00 (-0.96)	69.49 (0.65)	73.47 (1.22)	59.65 (-1.10)	62.16 (-0.51)	70.00 (0.67)
判断できない	12.00 (-0.21)	13.56 (0.16)	8.16 (-1.08)	19.30 (1.60)	10.81 (-0.41)	12.00 (-0.21)
女性 知らない	47.17 (4.25)	29.79 (0.92)	22.73 (-0.29)	17.78 (-1.14)	14.00 (-1.89)	13.73 (-1.97)
知っている	41.51 (-3.67)	61.70 (-0.27)	61.36 (-0.31)	64.44 (0.15)	78.00 (2.35)	74.51 (1.81)
判断できない	11.32 (-0.18)	8.51 (-0.82)	15.91 (0.85)	17.78 (1.28)	8.00 (-0.97)	11.76 (-0.07)

※括弧内の数値は調整済み残差を示す

4 考察

本研究では、低年齢の子どもの保護者を対象とした調査から、デジタル・シティズンシップについて、どのくらいの年齢でどのような知識を持っているのかを明らかにすることを目的とした。Ribble (2015) によるデジタル・シティズンシップの枠組みを援用し、内容を幅広くカバーするように作成した29項目について、年齢ごとに「知っている」と回答した割合を集計した。

全体な特徴として、年齢が上がると「知っている」と回答される割合は増える傾向がみられた。年齢が上がるとつれてインターネット利用は増えることから（こども家庭庁成育局安全対策課, 2024）、関連する知識を持つ子どもも増えると考えられる。また、小学生になると学校教育の効果も反映していると考えられる。

（1）就学前から「知っている」割合が多かったもの

3歳から5歳を「就学前」、小1から小3を「低学年」として平均すると、デジタル・コミュニケーションの項目である「様々なコミュニケーションツールがあること（表7）」、デジタル・コマースの項目である「オンラインで物を売ったり買ったりできること（表15）」「オンラインで物を購入する前に大人の許可を得る必要があること（表16）」、デジタル健康とウェルネスの項目である「デジタル機器を使用している時間が長すぎるのは健康的ではないこと（表28）」「目や耳を守る必要があること（表29）」「テクノロジーを使用することが適切な時と適切でない時

があること（表30）」は、就学前の段階ですでに40%以上の子どもが「知っている」と回答された。デジタル・コミュニケーションに関して、就学前の子ども（5歳以下）のコミュニケーションのためのインターネット利用（メールやチャットを含む投稿やメッセージ交換）は3%未満と非常に少ないが（こども家庭庁成育局安全対策課, 2024）、機器を使って子どもに電話をさせている割合は3歳を過ぎると半数以上となっている（ベネッセ教育総合研究所, 2018）。また、本調査の主たる回答者である30代、40代女性において、メールは40%以上、SNSは50%以上が利用していることから（総務省情報通信政策研究所, 2024）、子ども自身の利用だけでなく、保護者などの身近な人が利用する様子に接することからも、様々なコミュニケーションツールがあるという知識を得ていると考えられる。

デジタル・コマースに関しては、近年オンライン消費は増加し、二人以上の世帯の約半数以上がインターネットショッピングを利用していることから（総務省, 2021）、低年齢の子どもの家庭においても身近な行為であり、買い物ができることを知っている割合が多いと推察される。また、低年齢の段階では、たとえ自分のものであっても購入の手続きには大人の手を借りる必要があるため、許可を得る必要があることを理解しているのだと考えられる。

デジタル健康とウェルネスに関しては、3項目すべてで「知っている」割合が多い点が特徴的だった。インターネットの利用に関して、利用する時間や場所についてルールを決めている保護者は、青少年（10-17歳）よりも低年齢の子ども（0-9歳）の方が多くことが明らかになっている（こども家庭庁成育局安全対策課, 2024）。青少年になると、利用するサイトやアプリ、送信・投稿する内容、個人情報や利用料金等に関するルールを決める家庭が多くなるが、低年齢の段階ではまだそのような利用のしかたは多くなく、時間や場所といった点に注目されるとともに、保護者にとっても子どもに説明しやすいのではないかと考えられる。また、子どものデジタルメディア使用による気がかりとして、目や健康に悪いのではないかと懸念する保護者は非常に多いことから（ベネッセ教育総合研究所, 2018）、低年齢の段階から気を付けるよう、子どもに教えている家庭が多いと考えられる。

（2）就学前から低学年にかけて「知っている」割合が大きく増えたもの

就学前から低学年にかけて「知っている」割合が特に大きく増えたのは、デジタル・セキュリティの項目である「パスワードは個人的なものであり、特別な人（例：保護者、教師）以外の人とは共有しないこと（表25）」と「インターネット上で誰かの感情を傷つけてはいけないこと（表26）」だった。前者について、年齢が上がると自分専用の機器を持つ子どもが増えたり（こども家庭庁成育局安全対策課, 2024）、GIGAスクール構想によってひとり一台端末を使用するようになったりすることをきっかけに、家庭や学校でパスワードに関する教育が行われると考えられる。後者の項目については、少しずつコミュニケーション用途でのインターネット利用が増えたり、学校でネット上のいじめに関する指導が行われたりすることが、子どもの知識の獲得に寄与していると推察される。

(3) 低学年でも「知っている」割合が多くないもの

これらに対して、小1から小3までを平均したときに「知っている」割合が20%以下と少なかったのは、デジタル・エチケットの項目である「他の人の写真や動画を撮る前に、必ず許可を得る必要があること（表4）」、デジタル規範の項目である「インターネット上のコンテンツはそれを作った人（企業）に権利があること（表6）」、デジタル・コミュニケーションの項目である「様々なソーシャルメディアにはそれぞれ得意な伝え方があること（表8）」「インターネットのコンテンツの利用はデジタルフットプリントや履歴が残ること（表9）」「インターネット上での振る舞い方がわからない時の対処方法（表10）」だった。デジタル・エチケットとデジタル規範に関する項目は、自分本位に写真や動画を撮ったりコンテンツを好き勝手に利用してはいけないといったものであり、他者（企業）を尊重することが求められる内容である。子どもの発達段階と照らし合わせても、低年齢の段階では理解が難しい可能性がある。しかしながら、3歳ですでに60%以上の子どもが写真を撮る経験をしていたり（ベネッセ教育総合研究所, 2018）、学校でも、配布される学習者用コンピュータなどの端末を使って写真を撮って学ぶ機会が出てきたりすることから、早期から子どもに伝えていく必要がある内容といえる。

また、デジタル・コミュニケーションに関する項目は、子どもが実際に使いながら、実感を伴って理解していく内容といえる。10歳以上になるとコミュニケーション用途でのインターネット利用は半数近くに増えることから（こども家庭庁成育局安全対策課, 2024）、このような用途で利用し始めるタイミングで知識を深める機会を設けていくことが必要だと考えられる。

(4) まとめと今後の展望

本研究では、低年齢の子どもに関し、デジタル・シティズンシップについて、どのくらいの年齢でどのような知識を持っているのかを検討した。デジタル健康とウェルネスに関する内容などは就学前の段階から「知っている」割合は多かったが、デジタル・コミュニケーションに関する内容などは低学年でも「知っている」割合はそれほど多くないといったように、内容によって知識の状況に違いがみられた。今後は、「知らない」と判断された内容について、子どものインターネットやデジタル機器の利用状況と合わせて、保護者による適切な介入の在り方を検討することが求められる。すでに保護者向けの資料や教材も多数提供されているが（例えば総務省による「家庭で学ぶデジタル・シティズンシップ」など）、どのような資料がどこで入手でき、どのようなときに活用できるのか等、保護者にとってより利用しやすくなるための情報の提供も必要になるだろう。

本研究では、調査の際、「子どもが知っているか、知らないか、私には判断できない」という選択肢が用意されていた。就学前よりも低学年の子どもに関して「判断できない」が多く選択される傾向がみられた。項目の内容による判断のしづらさもあるだろうが、それに加えて、低学年になると用途が広がったり、専用の機器を使うようになったりと、保護者の目が届きにくくなるのが背景にあると考えられる。どのような場合に判断しづらくなるのか、その要因を詳細に検討するとともに、そのような認識が保護者による介入にどのように影響するかを検討することも必要だといえる。

最後に、本研究では、保護者の回答を通して低年齢の子どもの知識の有無を理解した。保護者は「知っている」と判断していても、実際には子どもは知らないという認識のずれが生じる可能性も否定はできない。子ども自身の利用のしかたを丁寧にみながら、適切な利用について情報を提供していくことが必要といえる。

謝辞

この研究は、科研費（20H01653）の助成を受けて実施されました。

引用文献

- ベネッセ教育総合研究所（2018）第2回乳幼児の親子のメディア活用調査報告書. https://benesse.jp/berd/up_images/textarea/%E5%85%A8%E4%BD%93%E9%80%9A%E3%81%97.pdf（参照日：2025年1月31日）
- Common Sense Education (n. d.) <https://www.common sense.org/education/digital-citizenship/curriculum>（参照日：2025年1月30日）
- Council of Europe (2020) Digital Citizenship Education Trainers' Pack. <https://rm.coe.int/digital-citizenship-education-trainers-pack/16809efd12>（参照日：2025年1月30日）
- Government of British Columbia – Ministry of Education (2015) British Columbia's Digital Literacy Framework. <https://www2.gov.bc.ca/assets/gov/education/kindergarten-to-grade-12/teach/teaching-tools/digital-literacy-framework.pdf>（参照日：2025年1月31日）
- ICT活用のためのリテラシー向上に関する検討会（2023）ICT活用のためのリテラシー向上に関するロードマップ. https://www.soumu.go.jp/main_content/000953689.pdf（参照日：2025年1月31日）
- こども家庭庁成育局安全対策課（2024）令和5年度青少年のインターネット利用環境実態調査報告書. https://www.cfa.go.jp/policies/youth-kankyau/internet_research/results-etc/r05（参照日：2025年1月29日）
- Ribble, M. (2015) Digital Citizenship in Schools: Nine Elements All Students Should Know (Third Edition). International Society for Technology in Education.
- 総務省（2021）情報通信白書 令和3年版. <https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/r03.html>（参照日：2025年1月31日）
- 総務省（2023）家庭で学ぶデジタル・シティズンシップ. https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/parent-teacher/digital_citizenship/（参照日：2025年1月31日）
- 総務省情報通信政策研究所（2024）令和5年度情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告書. https://www.soumu.go.jp/main_content/000976455.pdf（参照日：2025年1月31日）
- The Lester B. Pearson School Board (2015) Digital Citizenship Curriculum Map. http://dcp2.lbpsb.qc.ca/wp-content/themes/dcp/files/DigitalCitizenshipCurriculumMap_Updated.pdf（参照日：2020年8月19日）
- The Saskatchewan Ministry of Education (2015) Digital Citizenship Education in Saskatchewan

Schools: A Policy Planning Guide for School Divisions and Schools to Implement Digital Citizenship Education from Kindergarten to Grade 12. <https://publications.saskatchewan.ca/api/v1/products/74447/formats/83322/download> (参照日：2025年1月31日)

